

SHARP

1ビットポータブルMDレコーダー 形名IM-DR80

録音操作早見表 (表面)

+

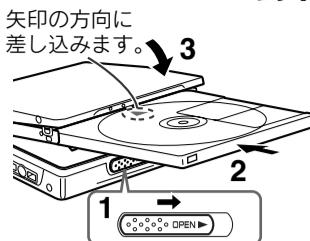
ワンポイントアドバイス集 (裏面)

はじめに
お読みください



Printed in Malaysia
TINSJ0168AWZZ
03M R YT ②

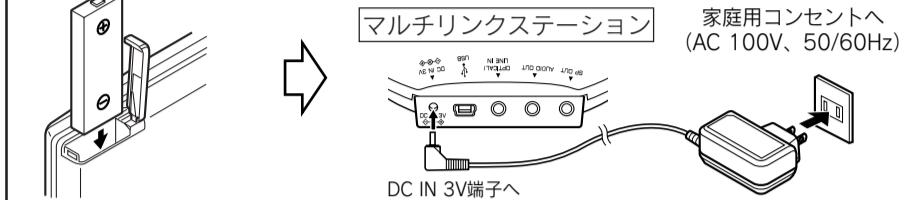
録音用 MD を入れる



閉じる 開く
録音・編集状態 誤消去防止状態

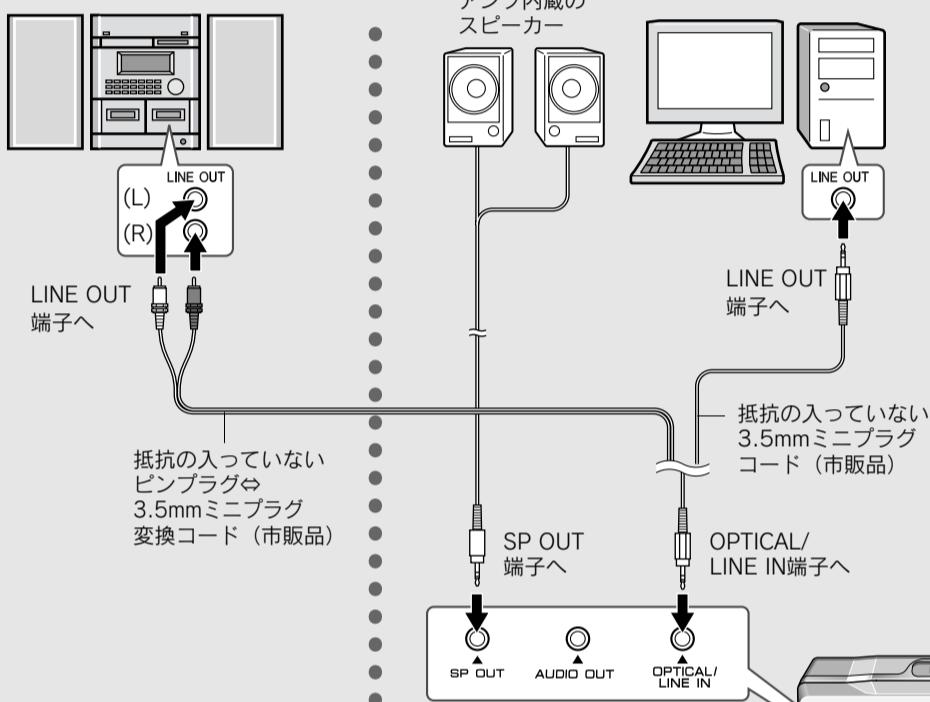
録音するときは、誤消去防止
つまみを閉じておいてください。

充電池を入れ、ACアダプターをつなぐ



家庭用コンセントへ
(AC 100V, 50/60Hz)

ステレオまたはパソコンから録音したり、再生音を聞くとき



「LINE MONI」の設定について

パソコンの入出力を同時につないでいるときは、
「LINE MONI」の設定を「OFF」にしてハウリングを防止
することをおすすめします。
くわしくは、取扱説明書の90ページをごらんください。

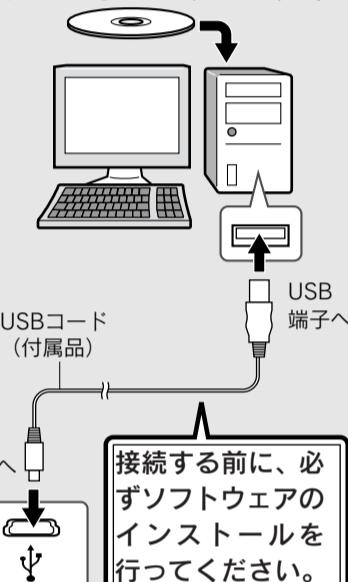
スピーカー出力切換スイッチについて

マルチリンクステーションに接続したスピーカーから
出力される音を切り換えるときに使います。



Net MD をするとき

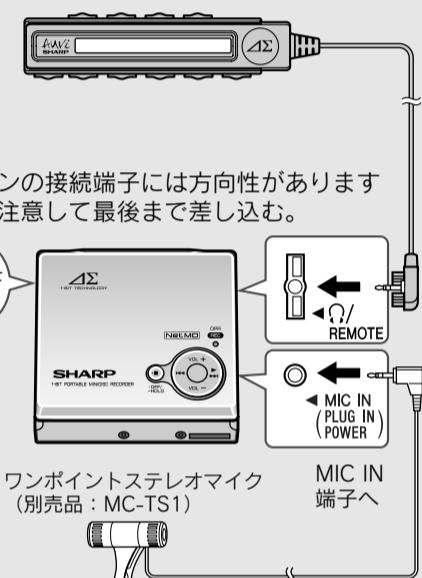
「BeatJam」をセットアップする。



接続する前に、必ずソフトウェアの
インストールを行ってください。

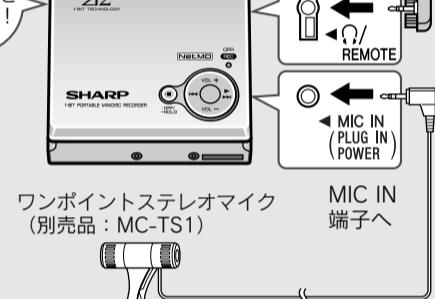
マイクから録音するとき (屋外)

(リモコンで操作する)



リモコンの接続端子には方向性があります
ので、注意して最後まで差し込む。

充電池を入れて!



上記のワンポイントステレオマイクの他に
マイク (MC-TP2) があります。

マルチリンクステーションに置くと、
リモコンと本体では操作できません。

マイクから録音するとき (屋内)

(マルチリンクステーションで操作する)



ステレオまたはパソコンから録音するとき

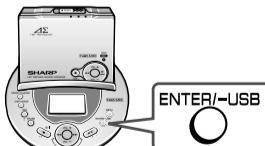
(マルチリンクステーションでの操作)

- REC を押す。
- 接続した機器を再生する。
- REC を押して、録音レベルを調整する。
裏面もごらんください。
- 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
(曲の頭出しをしておく)
- REC を押す。
- 接続した機器を再生すると、録音が始まります。

Net MD をするとき

(マルチリンクステーションでの操作)

- ENTER/USB を2秒以上押す。



本体の取扱説明書107ページもごらんください。

- 「BeatJam」を起動する。
- 音楽データをMDに転送(チェックアウト)する。
くわしくは、BeatJamの取扱説明書をごらんください。

マイクから録音するとき (屋内)

(マルチリンクステーションでの操作)

- REC を押す。
- MENU を押す。
- REC を押して
マイク レベル
「MIC LEVEL」を選び、
ENTER/USB を押す。
- REC を押して、「ALC-H」、「ALC-L」、「MANUAL」を選び、ENTER/USB を押す。
裏面もごらんください。
- REC を押す。

マイクから録音するとき (屋外)

(リモコンでの操作)

- REC を押す。
- MENU を押す。
- REC または REC を押して
マイク レベル
「MIC Level」を選び、REC を押す。
- REC または REC を押して、「ALC-H」、「ALC-L」、「MANUAL」を選び、REC を押す。
裏面もごらんください。
- REC を押す。

〈本体操作〉 REC を2秒以上押す。
押すたびに切り換わります。

ホールド設定：録音ランプが3回点滅
ホールド解除：録音ランプが1回点滅

ホールドの設定と、解除について
(リモコン操作) HOLDスイッチを
切り換える。

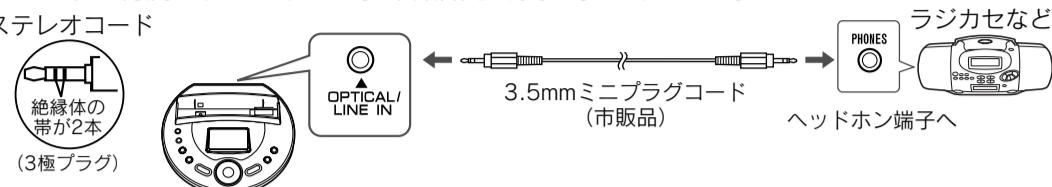


知っておくと役に立つ ワンポイントアドバイス集

音声出力端子 (LINE OUT/AUX OUT/REC OUTなど) のついていないラジカセやステレオなどから録音したいのですが…

ヘッドホン端子をご利用になると録音できます。

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。



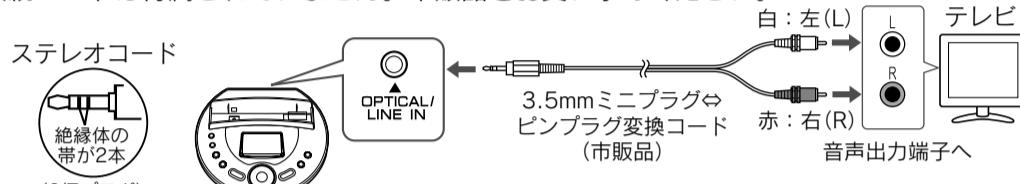
録音はアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

テレビの音声を録音したいのですが…

お手持ちのテレビについている出力端子の形状を確かめて、次のように接続してください。

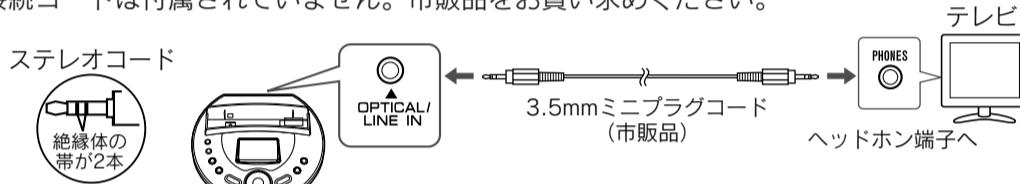
〈音声出力端子から録音するとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。



〈ヘッドホン端子から録音するとき〉

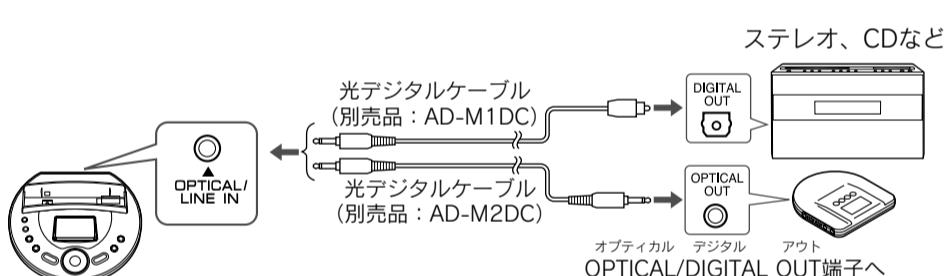
接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。



上記の接続は、いずれもアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

光デジタル端子から録音したいのですが…

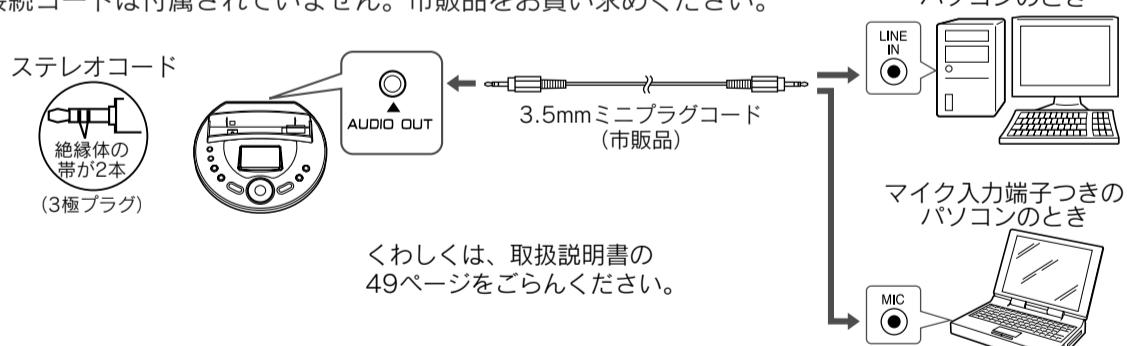
光デジタル端子のある機器に、別売の光デジタルケーブル (AD-M1DCやAD-M2DC) で接続すると、アナログ録音に比べて高音質での録音ができます。



パソコンやステレオにつないでMDの音声を録音/再生したいのですが…

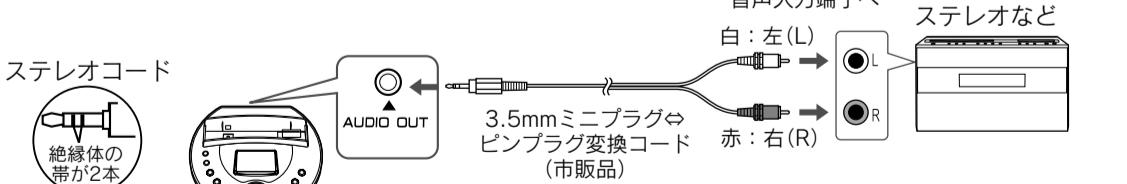
〈3.5mmミニプラグの入力端子つきのパソコンのとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。



〈音声入力端子つきのとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。



接続するマイクについて

- マイクは、プラグインパワー方式に対応したものであれば、市販のステレオマイクも使用できます。
- プラグインパワー方式に対応していないマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

プラグインパワー方式に対応したマイクとは

マイクには、動作用の電源を必要とするものと、必要としないものがあります。

電源を必要とするマイクの中には、電池を内蔵するものと、本体から電源が供給されるものがあります。本体から電源が供給されることによって動作するマイクを、プラグインパワー方式対応のマイクと言います。

POINT

■ デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

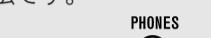
デジタル録音

CDやMDなどのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログ録音に比べて、高音質での録音ができます。



アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音 (アナログ信号) を録音する方法です。



音声出力/LINE OUT端子

ヘッドホン端子

■ 録音レベルの調整

最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるように調整します。

-12dB -4dB 0dB



録音レベルを調整すると、目安として録音モニターが表示されます。

〈デジタルケーブルを接続したとき〉

録音モニターは、D.L. -10dB～D.L. +10dBを表示します。

- CDから録音するときは、「D.L. 0dB」に、CSチューナーなどから録音するときは、「D.L. +8dB」を目安に設定してください。

〈アナログケーブルを接続したとき〉

録音モニターは、LINE 0～LINE 30を表示します。

- 外部機器のヘッドホン端子から録音するときは、再生する外部機器の音量を音が歪まないように出力を調整し、その後、本機の録音レベルを調整してください。

〈マイクを接続したとき〉

メニューから「ALC-H」または「ALC-L」を選択すると自動でレベル調整が行われます。最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるほうを選んでください。



「MANUAL」を選択すると手動で調整することもできます。

録音モニターは、MIC L 00～MIC H 30を表示します。

録音するときの録音レベルが小さすぎると、再生しても音が出ないことがあります。

■ 長時間録音されたMDについて

LP2(2倍長時間録音)、LP4(4倍長時間録音)で録音された曲は、長時間再生に対応していない機器では、再生できません。

MDLP対応の機器で再生してください。または、SP(ステレオ録音)で録音したMDを再生してください。

■ 抵抗入りの接続コードについて

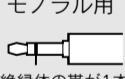
抵抗の入っている接続コードを使って録音すると、音が小さくなります。

抵抗の入っていない接続コードを使ってください。

■ 1ビット専用のヘッドホンプラグについて

1ビットアンプ専用のヘッドホンプラグは、通常のヘッドホンのプラグと端子の形状がちがいます。

1ビットアンプ用 通常のステレオ用 モノラル用



絶縁体の帯が3本 (4極プラグ)

絶縁体の帯が2本 (3極プラグ)

絶縁体の帯が1本 (2極プラグ)

モバイル1ビットデジタルアンプは、ヘッドホンへのケーブルをプラス側とマイナス側それぞれ左右独立分離することで、相互の信号の影響による音質劣化を最小限とする、高音質設計のフルブリッジ方式を採用しています。

付属の4極プラグ (絶縁体の帯が3本)

市販の3極プラグ (絶縁体の帯が2本)

付属の4極プラグヘッドホンは、1ビットポータブルMD専用です。モバイル1ビットデジタルアンプの高精細なサウンドをお楽しみください。

マイナス側を左右で共有している市販の3極プラグヘッドホンでは、方式の違いから本来の高音質を十分に発揮できません。

また、付属のヘッドホンを他の機器で使用すると、片チャンネルしか聞こえない場合があります。

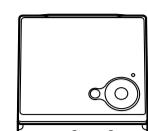
1ビットポータブルMDレコーダー

Net MD
セットアップガイドPrinted in Malaysia
TINSJA021AWZZ
03M R YT ①

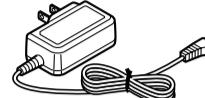
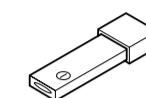
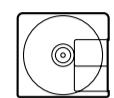
用意するもの



BeatJam CD-ROM

マルチリンク
ステーション

本体

USBコード
(専用タイプ)ACアダプター
(AC 100V - 240V 対応)ニッケル水素
充電池×1
(充電池ケース付)録音用MD
(市販品)

接続の前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。

1. まず、パソコンにBeatJamをセットアップしましょう。

BeatJamをセットアップすると、オーディオ機器に音楽を転送するために必要な、
プラグイン・USBドライバもすべてセットアップされます。

<ご注意>

セットアップは、必ずパソコンに直接接続されたCD-ROMドライブから行ってください。

複数のパソコンをお持ちの方で、ネットワーク経由のCD-ROMドライブからは正常にセットアップできません。

1 パソコンのCD-ROMドライブにBeatJamのCD-ROMを入れる。

セットアップ開始画面が表示されます。



CD-ROMを入れてもセットアップ開始画面が表示されない場合は、次の操作を行います。

1 Windows®の[スタート]ボタンをクリックして、[マイコンピュータ]を選ぶ。

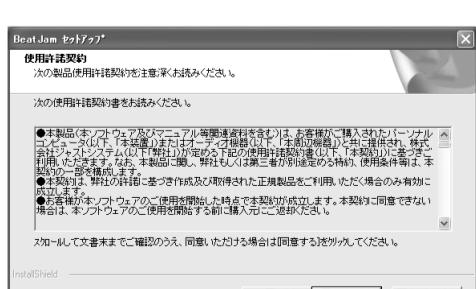
Windows® Me/98SE/2000の場合は、デスクトップ上にある[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

2 CD-ROMドライブを示す[OMGBJ]上で右クリックして、表示されるメニューから[開く]を選択。

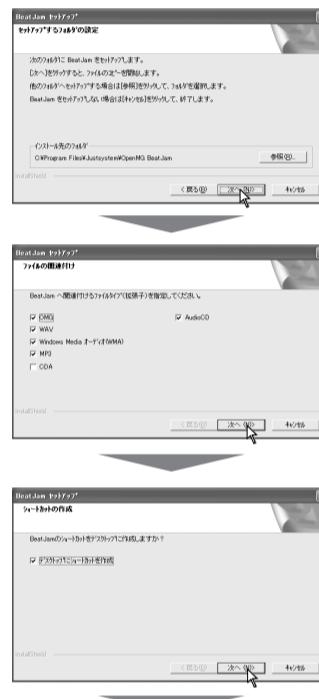
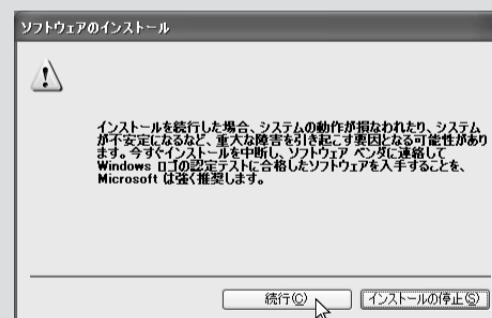
3 表示される一覧から、AUTOPLAY.EXEをダブルクリックする。

2 [BeatJamのセットアップ]をクリックする。

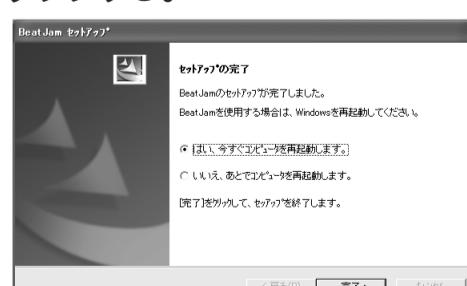
3 [次へ]をクリックする。

4 使用許諾契約を確認するメッセージが表示されますので、
内容を確認して、[同意する]をクリックする。

5 画面のメッセージに従って、操作を進める。

Windows® XPではじめてBeatJamをセットアップしたときは、次の警告メッセージが表示されます。
[続行]をクリックしてください。

6 [完了]をクリックする。



セットアップが終了し、コンピュータが再起動します。

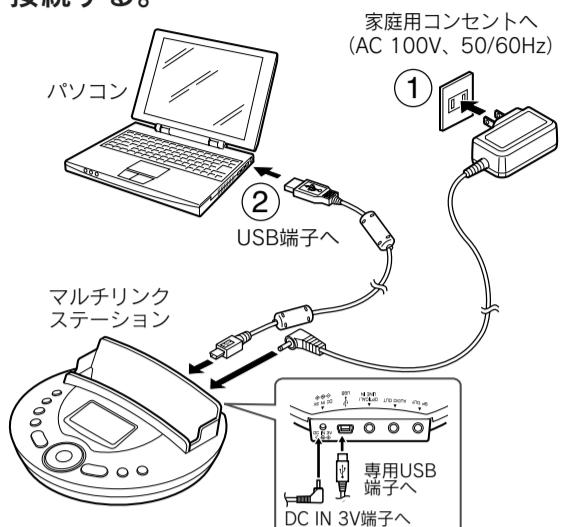
今すぐコンピュータを再起動させたくないときは、

“いいえ、あとでコンピュータを再起動します。”を選択したあと、完了をクリックしてください。

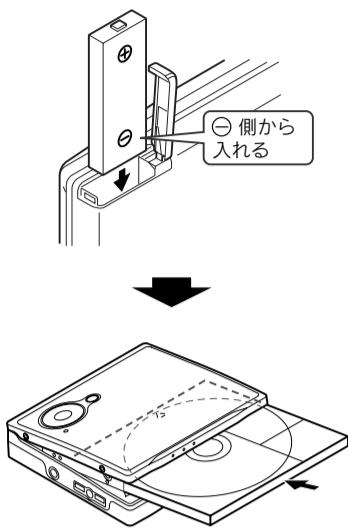
接続の前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。

2. つぎに、パソコンとマルチリンクステーションを接続します。

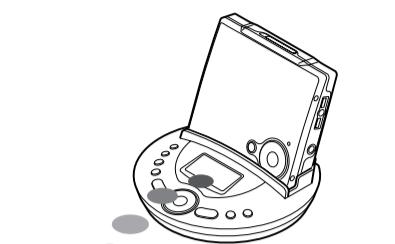
1 付属のUSBコードとACアダプターを接続する。



2 本体に充電池とMDを入れる。

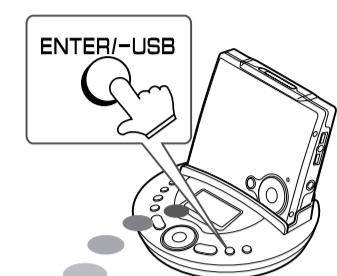


3 MDを入れた本体をマルチリンクステーションに置く。



USB Standby
"USB Standby" と表示されます。
(パソコンの電源「入」時)

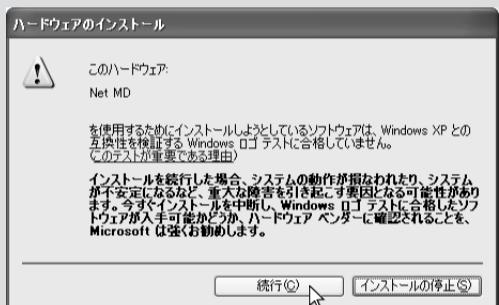
4 ENTER/-USB を2秒以上押す。



...USB...
"...USB..." と表示されて、パソコンとのUSB接続ができました。

3. それでは、BeatJamを起動しましょう。

Windows® XPではじめて接続したときは、次の警告メッセージが表示されますが、[続行]をクリックしてください。



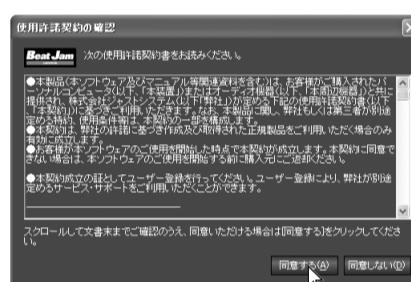
ほかのOpenMGアプリケーションや音楽ソフトが起動している場合は、終了してください。

1 デスクトップ上にある[BeatJam]をダブルクリックする。

Windows®の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[JUSTSYSTEM]アプリケーション→[BeatJam]→[BeatJam]を選んでもスタートできます。

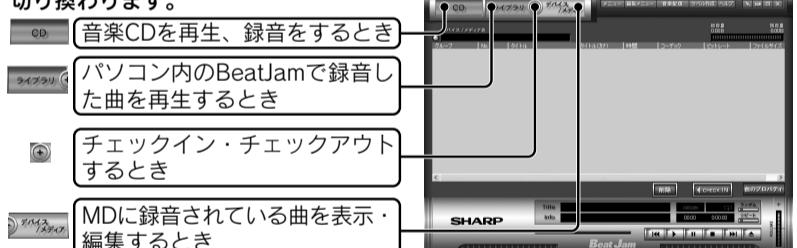
* Windows® Me/98SE/2000の場合は、[プログラム]です。

2 はじめてBeatJamを起動したときは、使用許諾契約を確認するメッセージが表示されます。内容を確認して、[同意する]をクリックする。



3 BeatJamが起動し、操作できる状態になります。

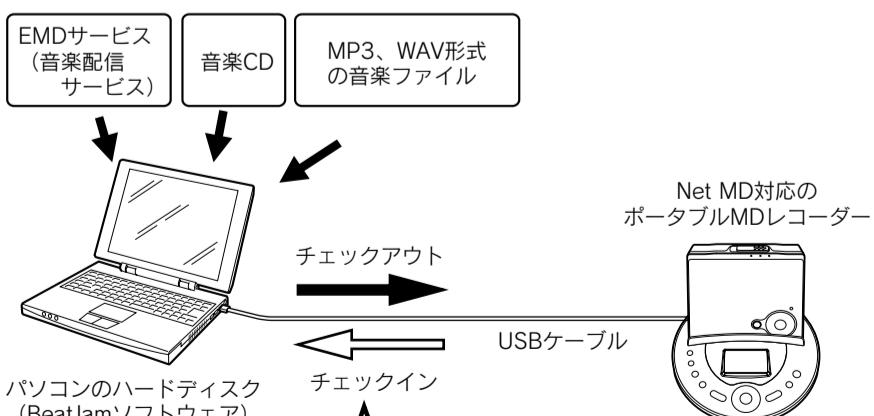
それぞれのボタンを押すと、パネルが切り換わります。



操作方法は、「BeatJamの取扱説明書」をごらんください。

Net MDとは？

パソコンのハードディスクに保存した音楽データをポータブルMDレコーダーに転送(チェックアウト)できます。



チェックアウトした音楽データのみをパソコンのハードディスクに戻す(チェックイン)ことができます。チェックアウトした音楽データを他のパソコンにチェックインしたり、マイクやLINE入力から録音した音声をチェックインすることはできません。MDに録音された音声をパソコンに録音するときは、「本体の取扱説明書」の49ページをごらんください。

Net MDの「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

インストール(セットアップ)できない。

- ・パソコンの動作環境は適合していますか？
- ・Windows® XPではじめてお使いのときは、「Windowsロゴテストに合格したソフトウェアが入手可能かどうか…」の警告メッセージが表示されませんでしたか？
- ・「使用許諾契約」の画面で「同意する」をクリックしましたか？

くわしくは、それぞれの取扱説明書をごらんください。

本体用 BeatJam用

P.102 P.9

「続行」をクリックしてインストールを続けてください。

「同意する」をクリックしてインストールを続けてください。

転送できない、MDを認識しない。

- ・付属のUSBコードで正しく接続しましたか？
- ・マルチリンクステーションの「ENTER/-USB」ボタンを2秒以上押しましたか？

本体用 BeatJam用

P.105

...USB... の表示を確かめてください。

ソフトウェア(BeatJam)に関するサポート情報など、「BeatJamのホームページ」に参考となる情報が紹介されています。
(<http://www.justsystem.co.jp/beatjam/index.html>)